

池田食品 株式会社

北海道に生きる地元企業として、
たゆまぬ努力を

老舗の豆菓子・ボーロ菓子のメーカーとして、北海道内を中心に、本州・海外への卸販売を行う。直営店舗による直販にも力を注ぐ。

設立 昭和23年7月
従業員数 45名
代表者 池田 光司



札幌市白石区中央1条3丁目32

TEL 011-811-2211
FAX 011-811-2214
<https://ikedac.co.jp>



品質保証室 室長
池田 浩輔

お客様への感謝をこめて

これからも現場の声を聞き、様々な技術を取り入れながら生産性を上げていきたいです。卸販売部門と小売部門ともにさらに経験値を積み、新旧のお客様に喜んでいただけるよう商品開発にもますます力を入れていきます。

段ボールへの自動印字による 在庫管理工程の改善

素早さと正確さが求められる在庫管理

伝統的な菓子製造業を営みながらも、常に新たな挑戦を続ける池田食品株式会社。同社の販売部門は、卸販売部門と小売部門に大別される。卸販売部門は道内主要スーパーで高いシェアをもち、本州・海外へと販路拡大している。自社直営店舗を運営する小売部門では少量多品種を強みとし、売れ筋を予測しながら正確な在庫管理を行うことが求められている。

同社が今回の事業で取り組んだのは、段ボールへの自動印字による在庫管理工程の改善だ。常時200種類以上のアイテムを取り扱う同社では、お客様のニーズに合わせてすぐに商品を納品できるよう、製造工程から在庫管理まで効率的な体制を構築する必要がある。受注から出荷まではおよそ0.5日。お客様のもとに商品をお届けするために必要不可欠な資材は、常に多めに在庫しておく必要がある管理には気を遣う。商品自体の質の向上により心を向けられるように、まずは資材管理の効率化に着手した。

たくさんのお客様に恩返しをするために

本事業によりインクジェットプリンターGRAPHICA3000を導入することで、1日に2時間を要するラベル貼付時間及び、作業による人為的なミス削減を図ることができる。また専用段ボールの種類が削減されるため、在庫スペースも削減となる。空いたスペースは商品の在庫置き場と出荷作業場として活用する予定だ。在庫商品数の増加により出荷可能数も増え、販路拡大にもつながるだろう。

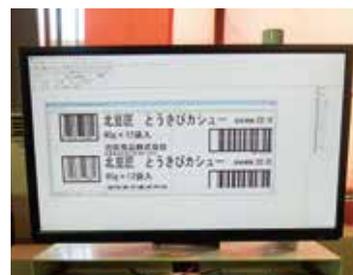
現在は、同機器の本格稼働に向け微調整を行っている。梱包と同一のラインで段ボール側面に商品名や商品名のほかバーコードを印字しているが、これをさらに活用することで、リアルタイムでの正確な在庫確認やロット管理、トラブルの早期発見などが可能となる。

「本事業は前に進みたい企業の背中を押してくれる」と池田さん。「コロナ禍を生き抜いていられるのは、地元のお客様に愛していただいたからこそ。商品開発にますます力を入れて恩返ししていきたい」と語った。

専用のラインに設置された
資材段ボール



商品名や数量、社名などのほかバーコードも
印字されている



印字内容を設定する画面。
段ボールを挟み込むようにして側面に印字する